

道の駅整備推進事業のスケジュールの見直しおよび事業手法について

1. スケジュールの見直しについて

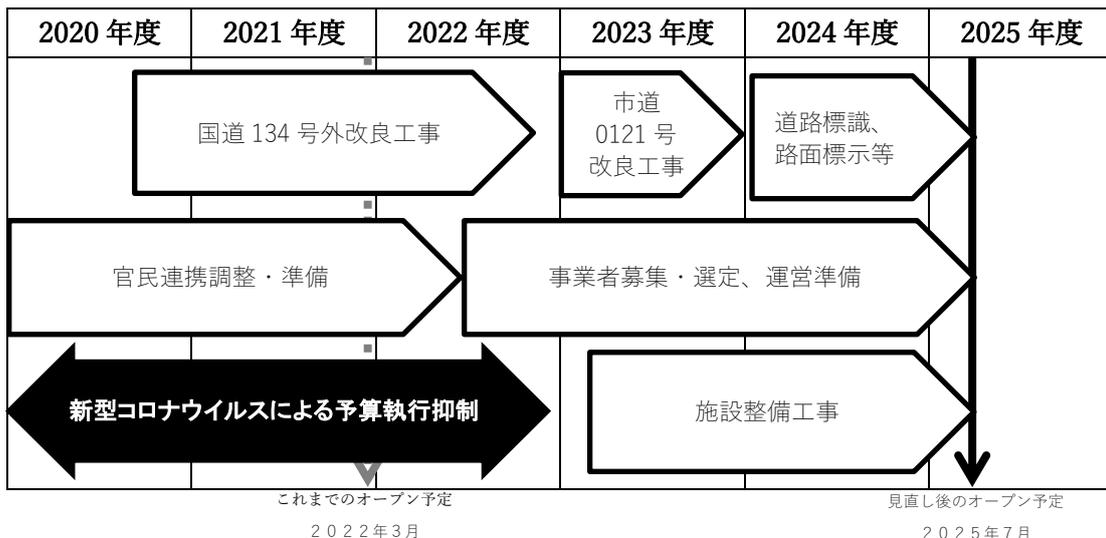
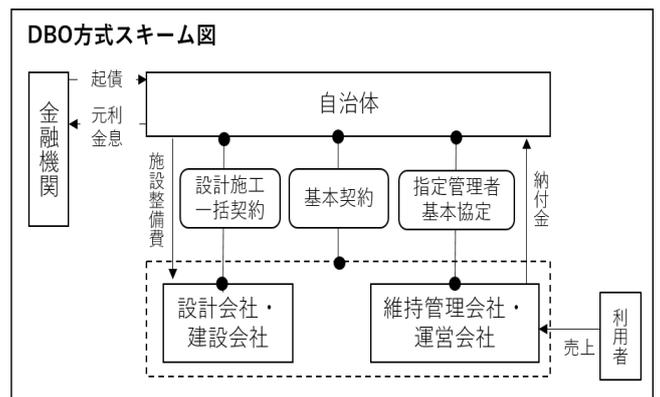
神奈川県と茅ヶ崎市で整備を進めている「道の駅」については、2022年3月のオープンに向けて事業に取り組んでまいりました。

一方で、全世界的に新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、本市においても市民生活や市内経済へ多大なる影響を与えていることから、本市では当面の間は「茅ヶ崎市新型コロナウイルス感染症対策政策パッケージ」を軸とした「茅ヶ崎市事業実施方針」に基づき行政運営を進めることとしております。

このような状況を踏まえ、あらためて道の駅の整備工程を精査した結果、市の財政負担のピークとなる施設整備工事に係る予算計上を2023年度以降とし、2025年7月へとオープン時期を見直すこととなりましたので、お知らせします。

2. 事業手法について

昨年度実施した官民連携手法検討調査の結果より、民間事業者の経営能力および技術的能力を活用し、設計、建設、維持管理・運営までを一括して発注することで、費用縮減効果や良質なサービス提供が期待でき、さらに公共が資金調達をすることで金利コストを低減できる「DBO方式」を採用します。



地域のにぎわい創出の拠点となる道の駅を楽しみにされている方々の期待に応えられるよう、2025年7月のオープンを目指し、引き続き取り組んでまいります。

※ 上記1.2については、今後の社会情勢の変化等により変更となる可能性があります